

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 こどもサポート ぎんなん		
○保護者評価実施期間	2024年 5月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2024年 5月 1日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・同じ社会福祉法人に保育園があるため、保育園との連携が密にとれるので、細やかな対応で保護者や子どもへの対応ができること。	・毎回、子どもがやりたいことを聞いて、自分の思いを発信する力をつけながら、イメージするものを形にしたり、遊びたいことを満足できるまで取り組むことで充実感、達成感が味わえるようにしている。	・理学療法士などの見立てによる体の使い方などを参考にしながら、遊びの中に取り入れている。遊びの中での手指の動きや体の使い方などを意識した遊びというものを職員で話し合い、考えて取り組んでいる。
2	・保育園と連携しているため行事や報告・連絡・相談がとてもしやすい。	・子どもが意欲的に様々な活動に取り組むことができるよう、配慮している。 ・子どものやりたいことを優先し、遊びや活動に専念できるよう工夫している。	・子どもの一日の活動を記録しているため、職員間でも一人ひとりの成長を共有することができる。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・2024年5月に開所したばかりということもあり、自分たちのやり方があっているのか、何が正解なのかという点で不安がある。	・ぎりぎりの人数でスタートしたので、色んな研修を受けることも出来ず、日々の療育に向き合うことで精一杯だった為。	・職員を1名増やしたことで、研修に行くことができるような環境づくりができた。アンテナを張り研修を受けることで、自分たちの不安要因を払拭していきたい。
2	・開所したばかりということもあり、手探りしながら保育をしている。 ・自由遊びが主なので、生活習慣面での成長を促すことができているのか不安もある。	・時間に追われながらも、日々の療育を終えている。	・子ども一人ひとりに合った療育を分析しながら職員で共有したり、研修を受けたりする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 こどもサポート ぎんなん

公表日 2025 年 2月 4日

利用児童数 16

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				・広々としています。 ・園庭も広くて砂場もあるので有難いです。 ・雨の日は室内のみで狭く感じますが、ボルダリングやマット等で代償できていると思う。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14				・しっかり向き合ってくださいと子どもの話を聞いて感じます。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				1	・現状、我が子が困っていると感じない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					・現状、我が子が困っていると感じない。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			・親が不安に感じていても先生たちが子どもに寄り添い理解ある支援をいただけています。 ・子どもに合わせて、寄り添った支援をいただけています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				・アプリで支援内容が詳しく毎回書かれていて合っていると思います。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1			・親のニーズをしっかりと聞いてくださり専門的知識で分析され作成されていると思う。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				・「移行支援」はよくわかりませんが、「本人」「家族」へは具体的支援がされていると感じます。		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				・問題なく行われていると思います。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				・毎回、こどもの「やりたいこと」を中心に支援を合わせてしてくださっています。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1			1	・保育園との交流が多く、様子を知ってくださるのが、とても心強いです。 ・保育園とも連携が取れているので安心してしています。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				・いただいた説明で満足しています。		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				・モニタリングごとにしっかり説明を受けています。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4			2	・積極的な広報はないですが、こちらが必要な事を伝えれば対応してくれると思います。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14				・良い面、悪い面（支援が必要な点）の認識は同じと感じています。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			1	・子どもを迎えに行く際や、HUGで必要に応じされていると思います。 ・面談で親の心も毎回満たされています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				・家と同じ姿でない時も、動画を見ていただき、支援や助言を頂けます。		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4			4	・保護者交流はありましたが、きょうだい向けがあつたかは知りません。 ・保護者会があつたら嬉しいです。	・保護者交流会が好評だったので、回数を増やそうと考えているところです。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			1	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったこと等があれば、いつでも相談できると感じています。(アプリ等) ・いつも迅速に対応していただいています。 	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題を感じません ・アプリのメッセージや面談でやり取りできるので助かります。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13			1	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリでも、直接会った時もいただいています。 ・毎日、活動内容を教えてくれる。 ・アプリで写真と一緒にお知らせしてもらえるので分かりやすいです。 	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題を感じていません。 	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と連携されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談などでマニュアルについて説明をさせていただき、出入りにマニュアルを設置します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と連携されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の様子をお手紙やアプリなどでお知らせします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			2	<ul style="list-style-type: none"> ・一度、我が子が友だちとぶつかった際、その後すぐに対策されて、すごいと感じました。 	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			2	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに連絡、対応していただき、感謝しています。 	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・とてもそう感じます。園と連携されている点がとても良いと感じます。 ・保育園への行き渋りもなくなった。 ・見てもらえているという安心感や満足があると思います。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・とてもとても楽しみにしています。 ・毎朝、楽しみにしている。 ・毎回、とても楽しみにしています。通所しない日は残念がっています。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・とっても、とっても満足しています。 ・最高です。 ・子どもだけでなく親にも寄り添っていただき、とても感謝しています。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 こどもサポート ぎんなん		公表日		2025年 2月 4日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・子どもたちの動きや活動に合わせて対応できていると思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・子どもの人数に合わせて対応出来ていると思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・現状、問題はないと考えます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じ都度清掃する等、清潔な空間を保っていると思う。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・現状あまり該当する事例がないが、対応できると思う。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じ情報共有できる環境があると思う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・今年度が初めてとなるが評価内容によって対応すると思う。	・保護者の評価を職員間で共有し、どのように改善したら良いか話し合っていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・常に必要に応じて情報共有し、業務改善につなげられる環境はあると思う。	・職員間で意見が出しやすい雰囲気づくりに努めて、些細なことなど情報を共有していけるようにしたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・第三者による外部評価を受け、活動に取り入れていると思う。	・定期的に外部の方に療育、保育についての相談やご意見を取り入れて改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・研修はあります。	・社会福祉法人内で研修の情報など共有し、受講できるようにしていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・されていると思う。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・されていると思う。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・情報共有や相談など密にされ検討が行われていると思う。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・されていると思う。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・アプリなどでされていると思う。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・されていると思う。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・積極的に立案されていると思う。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・日々変化に富んでいると思う。	・活動プログラムを立てているが、こどもが発信する「やりたいこと」を受容して変化していく遊びに対応している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・上手く対応出来ていると思う。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・自然に出来ていると思う。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・情報共有が密にできる環境だととても思う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録の徹底はされている。検証頻度は、もう少しあげられると思うが出来ている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・出来ていると思う。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・できていると思う。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・整っていると思う。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・図っていると思う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・図っていると思う。	・保護者からの就学に関する質問など、学校に問い合わせで不安を解消できるように努めている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			・定期的に相談・助言をもらったりする機会もあり、研修へと発展する場合もあるので、今後も大事にしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・保育園と連携し、他のこどもと活動する機会がとてもあると思う。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・HUGや、直接話し共通理解がもてていると感じる。	・アプリを使って毎回丁寧に伝えている。課題についてもその都度伝えている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・頻度の向上はまだ可能と思われるものの必要に応じ対応できると思う。	・同じ社会福祉法人の中で、家族に向けての研修や情報など共有できるように努めているが、回数など検討していきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・行っていると思う。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・必要に応じ都度対応出来ていると思う。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		対応できていると思う。(対面・アプリ)	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・父母の会や、きょうだい交流の機会はないが保護者同士の交流の機会を設けている。 ・これから整えていきたい。	・なかなか忙しい保護者もいて、交流の場を設けても出席が難しいが、交流の機会を増やすことで、参加しやすい場を作っていきたいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・対面、アプリで対応出来ていると思う。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・アプリで対応していると思う。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・留意していると思う。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・配慮出来ていると思う。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・ハロウィン等で地域住民に協力を頂くことはあったが、招くことは出来ていないと思う。	・普段から挨拶などして地域の方に事業所を知ってもらうようにしてイベントなどで協力をもらえるようにしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアル作成や保育園と連携した訓練は出来ていると思うが、家族への周知は十分ではないと思う。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・保育園と連携し、他の子どもと活動する機会がとてもあると思う。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・確認していると思う。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・対応出来ていると思う。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・頻度はまだ改善可能と思われるが行われていると思う。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・行なわれていると思う。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・検討していると思うが頻度は改善出来ると思う。	・怪我などで病院受診など行った場合など職員間で話し合いスピード感をもって改善点を改め対応している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			・同じ社会福祉法人内で職員研修を行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・今のところ身体拘束が必要という案件はないが、その場合の準備は整えている。	